

楽しく運動が 一番!!



もくじ

楽しく運動が一番!!	2	コスモレディース	14
保健福祉・健康ここのえ21		良い映画を見る会10周年	15
	6	教育委員会だより	16
広報ここのえアンケート結果		図書館だより	17
	8	まちの話題	18
市町村合併	10	緑化フェア/交通安全	19
矢われた困窮発刊	11	くらしの情報	20
キャンペーンレディ/119		心の扉/当番	22
	12	歳時記/時間旅行	23
新規就農者奨励会	13	人の動き・ふれあいタイム	24

広報

ここのえ

2003 6 月号 No. 565

町民憲章 豊かな資源を生かし伸びゆく町にしよう

九重町ホームページ: <http://www.town.kokonoe.oita.jp/>

楽しく運動が一番!!

ウォーキング

ウォーキングは、約5kmを1時間かけて歩きます。ただ黙々と歩くのではなく、会話をしながら歩きます。コースは毎回変えており、景色の変化を楽しむことができます。もちろん、四季折々の自然の美しさも。地元の今まで気づかなかったことを発見するのもしばしば。

なるべく目立つコースを考えていると、講師の山本さんは話します。日中歩いていると、「あの人は暇だなあ」と思う人も未だに多いようです。しかし、少しづつでもいいから、繰り返し目にすることにより、歩くことの大切さを住民に知ってもらいたいと思い、目立つコースをあえて選んでいるそうです。

歩くことの効用は、体に良いだけでなく、思考能力にも良いとされています。歩いているときにアイデアが浮かんだ経験がある人も多いはず。

「例えば、歩いている、空き缶が多いなあという話から環境問題について話し合ったりします。歩くことのすばらしさは、そこにもあるんですね」と山本さんは話します。

気軽にできる点ではウォーキングが一番です。しかもその効果は大きいようです。



▲これが正しい歩き方

健康体操

ストレッチを中心に、軽い体操を交えながらの1時間。終わった後は体が軽くなり、爽やかな気分。「どこまでしなければいけない」ということはなく、自分に合わせて気持ちよく運動ができると、評判です。

88歳!

樺木トミカさん（青山通り）

毎週運動に来るのが楽しみです。あと野菜づくりが楽しみです。健康運動と畑仕事。これが健康の秘訣です。



シェイプアップ教室

エアロビクスを中心に音楽に合わせて楽しく運動ができます。楽しむことで運動が身近になり、知らず知らずのうちに減量が。体を動かすことで心も爽やかな気分になります。



渡邊征美さん（下旦3）

エアロビクスは楽しいです。毎週水曜日が来るのが楽しみです。何より痩せたのがよかったです。3年前、太ってどうしようもなかったのが始まったのですが、苦しまず、スムーズに痩せることが出来ました。みんなと知り合いになれたのもよかったですね。



「近頃運動不足だなあ……」。そう思っている人が多いようです。健康で、いきいきとした生活を送るには適度な運動が一番です。楽しみながら体を動かすことで、ストレスもいつの間にか発散。爽やかな気分になります。文化センターで毎週行われている健康運動教室が人気を集めています。講師は健康運動指導士の山本幸雄さん（樺屋）。山本さんの楽しい話を交えながらの教室に「毎回来るのが楽しみ」という人ばかりです。今回は、山本さんが講師をしている教室を集めてみました。



山本幸雄さん紹介

山本さんは、1998年、京都から九重町へ移住しました。

「消費生活に飽き飽きして、自分で食べるものは、自分で作るような生活をしたい」と思ったのがきっかけです。

移住先を探していたとき、たまたま九重町へ。町に入ったとき、ビビッとくるものがあり、この町への移住を決めたそうです。結果は大正解。「住民の人も親切だし、農いつながりができる。空気もいい。星がきれいとか、虫が鳴いているとか、季節の移り変わりを体で感じることができる。生きていく上で素晴らしいところ。理想のライフスタイルを手に入れました」と大満足。移住後、妻の清美さんとの間に、笑太郎くんが誕生。「野原を駆け回る、ターザンのように育てていきたい」と話していました。

山本さんと話していると感じる、しっかりと身に付いた考え方があります。「健康づくりを通したまちづくり、そして、自らが行動することの価値」です。それは、次のような、言葉からも伺えます。

「自分に正直に生きれば、やりたいことをやれば、それが健康につながると思います。体が元気になると、心が元気になります。そうすると、環境などに目を向けるようになる。町も健康になると思います。そのためには、まずは自ら実践することが大事です」

山本さんは、現在、6つの健康運動教室を持っていますが、「健康づくりと自らが行動することの大切さ」を参加者に伝えています。

「何人集まらなければならない、というのではないんですよ。ほんとうに運動がしたい人が、自分のペースで、いつでも気軽に集まれる場にしたい。それが、少しずつでも全町に広がれば、と思っています」。

山本さんは、昨年、農的な暮らしを実践する仲間とともにスローライフネットワークを設立。現在は農的な暮らしをベースに、各種健康運動教室やフリースクール・障害者の社会復帰のお手伝いなど、様々な活動のほか、環境問題・新しい生き方の提案などの講演活動も行っています。

風が気持ちいい！

楽しく歩いて、ふるさとを再発見しよう、と第2回エンジョイウォーキングが5月18日、飯田高原一帯で行われました。

この日集まったのが、小学生から70代の女性まで35人。準備されたコースは、飯田高原マラソンの練習コースをベースに、5kmと10kmの2種類。コース途中には、朝日長者七不思議跡を繋ぎ交えています。

それぞれのペースに合わせて春の高原を楽しむこのイベント、道ばたに咲いている草花の解説も参加者から飛び出していました。「コースも平坦なところが多く、年齢に関係なく参加できる」と大変好評の様子です。親子参加も見られました。子ども達に九重町の良さを伝える絶好の機会となったようです。



エンジョイウォーキング

硬式テニス



テニスをするのが初めて、という人を対象にしています。取材した日も、「今朝テニスラケットの値札をはいできたばかり」という人もいました。「全く初めてなんで……」と少し緊張気味の表情に「すぐ上達しますよ」と参加者から声がかかっていました。

練習時間は1時間。和気あいあいとした雰囲気の中、参加者はボールを打つ感触を楽しんでいました。

九重文化センター健康運動教室（6/25～7/24開催分）

教室名	曜日	時間	場所	日付
ウォーキング 	水	9:00～ 10:00	文化センター前	6/25, 7/2, 7/9, 7/16, 7/23
シェイプアップ 		10:30～ 11:30	文化センター・ 武道場	
健康体操 	木	9:00～ 10:00	文化センター・ 武道場	6/26, 7/3, 7/10, 7/17, 7/24
健康体操		11:00～ 12:00	飯田公民館	
硬式テニス(初心者向き) 	金	9:15～ 10:15	生きいき広場・ テニス場	6/27, 7/4, 7/11, 7/18
プールウォーキング 		11:00～ 12:00	(玖珠町) B & G プール	

- *受講料は全て無料です（プールウォーキングはプール使用料が別途必要）。
- *楽しく体を動かしてください。
- *毎回自由参加ですが、なるべく続けて受講してください。
- *雨天の場合、ウォーキング・テニスは体育館で行います。
- *テニスは硬式ラケット、体育館・武道場は室内シューズが各自必要です。
- *事故防止のため、開始時間に遅れた時は受講できません。
- *教室は講師の都合で変更になることもあります。

お問い合わせ先

九重町生涯学習センター

☎76-3888

爽快！～エンジョイ・エアロビクス



▲井上澄さん

無理せずに痩せたい。多くの人がそんな願いを持っています。

そんな人たちにすすめるためのエアロビクス。

このエアロビクスを楽しみながら健康づくりをしようと、エンジョイ・エアロビクスが5月6日、九重文化センター体育館でありました。

お迎えした講師は2人。井上澄さんと山本幸雄さんです。井上さんは5年前、田舎暮らしにあこがれ大阪より徳島県佐那河内村に移住。現在は全国各地で健康講座や運動指導で活躍中。一方の山本さんも5年前、京都から九重町に移住。町で行っている健康運動教室などで活躍しています。

この日集まった参加者は約60人。まず、山本さんから「エアロビクスは音楽に合わせて踊るだけでなく、ジョギングや水泳・散歩をすることも含まれています」というあいさつがあった後、軽快な音楽に乗り、井上さんの指導が始まりました。「私がするとおりにしなければダメだと思わずに、参考と思い、それぞれが自由に楽しんでほしい」という井

▶山本さん家の
笑太郎くんも参加



上さんの指導で、途中わずかな休憩を含みながらの1時間強、体を動かし続けました。

1時間以上体を動かし続けると相当きつそうですが、「不思議と息が上がらず、楽しい。爽快です」といった感想が聞かれました。



やさしく、強く～

瀧石良枝さん



運動を楽しむ日々

79歳でエアロビクスを楽しんでいる人がいます。

瀧石良枝さん（宝泉寺）とても80近くに見えませんが、

「18歳ですから」と笑顔で迎えてくれた瀧石さんは、週1回のエアロビクスの他、週1回の水泳、そして毎日のウォーキングを楽しんでいます。他に花作りや短歌・散文づくりも。

「全部楽しいですね。ウォーキングは、夏は朝4時、冬は5時に起きてしています。幽霊もいますよ。しかし幽霊の方が怖がって近づかない」と笑います。「歩いていると毎日新しい発見があります。ここに花が咲いているんだ、生きているんだ、っていのちをもらっています」。

運動を続けたおかげで、今でも若々しい雰囲気を保っています。

瀧石さんは、馬にも乗れるそうです。バイクの免許も早い時期に取りました。当時、女性で免許を取るの是非常に珍しかったようです。

「試験場は男性ばかりで恥ずかしかったですね。帰ろうと思ったら、試験官の人に呼び止められましたよ」

かなりハイカラな女性だった様子。

瀧石さんの元氣は、若い頃の仕事にも理由がありそうです。

無我夢中の日々

瀧石さんは若い頃、保健師（当時は保健婦）として活動していました。

瀧石さんが活動したのは、戦中から戦後。大変な時期でした。この町にも戦争の暗い影が覆っていました。一家の稼ぎ頭が戦争に取られ、残された家族がぎりぎりの生活をしていました。

「もう大変でした。とにかく食べ物が無い。くず米を使ってだんごを作ったり、少ない米をお粥にしたりして食べていた家も多かったですよ」

赤ちゃんに飲ませる粉ミルクも配給で不足気味。砂糖も貴重でした。

当然、病気が蔓延します。今でこそ明らかに出来ませんが、チフスを発症した人もいたそうです。

しかし、薬も満足にない状態。少ない薬をどう工夫するか、いつも頭を悩ませていました。薬草もよく使いました。「薬

草を求めてありとあらゆる場所を歩きました。今になってみると、良くあんなに歩いていたなあ、と思います」

急病が出て、夜中に出かけることも多かったようです。ちょっと音がただけで起きる癖がつきました。当時の移動手段は馬か自転車。

夜中に出かけるのは「病気を治すことで頭がいっぱい」で怖くなかったそうです。悲しい体験もたくさんしました。

「行ってみたらすでに死んでいたこともありましたが」と涙ぐみます。

うれしかったこともたくさんあります。「保健婦さん、歩いているよ～」と重荷を克服した患者さんの姿が目に見え付いているそうです。

「朝早くから夜遅くまで無我夢中の日々でした。苦しかったこと、悲しかったこともいっぱいあったけど、今思えば楽しかった。充実の日々でした」

精一杯ぶつかっていけば

仕事でも何でも精一杯ぶつかっていけば、道が開けると瀧石さんは話します。

「一歩あるけば二歩あるけるようになり、一歩下がれば三歩下がる。歌と一緒にですよ」

そして「人の話を良く聞き、人の痛みを知ることの尊さ」を感じていると言います。

「正座して、人の目をまっすぐ見て話を聞いていると、正しいことが見えてきます」

その人の持つ正しさや、良さも自分がとる姿勢次第では見えたり見えなかったりします。

「嫌いな人もその人の良いところだけを見るようにするんですね。そうすると、その人が好きになるし、自分も好きになってくれます」

「人間はやさしくなければならぬ。そして強くなければならぬ」とも語る瀧石さん。温とした印象を受けます。

現在は、夫の忠雄さんと二人暮らし。一緒にウォーキングなどを楽しむ日々です。

「夫婦って良いですね。酸いも甘いもかみ分けて。一緒にお茶を飲んだり、一つの饅頭を分け合ったりするのも楽しいですね」

もちろん、これまでの人生に悔いはない、そうです。



▼計画書は、バインダー式になっており、ページの著脱が簡単にできます。
これからもみんなと一緒につくっていく計画書です。



「心もからだもそして町も快い状態をめざす計画書」です。

●計画書を 策定した のはなぜ ですか？

日本は平均寿命、健康寿命ともに世界一の長寿国です。しかし、健康で過ごせる「健康寿命」と平均寿命の間には数年の開きがあり、この期間は痴呆や寝たきりなどで過ごすことにもなります。この期間を出来るだけ短くし、生涯元気で過ごせば人生は充実し、医療や介護の負担も少なくて済みます。そのため国民一人ひとりの健康づくりを社会全体で支えるため、「健康日本21」が国民健康づくり運動として推進されています。九重町では当町の地域特性や健康問題をふまえ、健康づくりを町民すべての世代のライフステージにあわせた『健康このえ21計画』を策定しました。

●計画書はどのよ うにつくられ、 どのように推進 していくの？

それぞれの組織や関係機関の方々とともに住民の方々の声を聞きました。また実態調査を行い、九重町の健康づくりの課題を明確にし、その解決に向けての方向性を話し合いながら、住民・各組織や団体・関係機関そして行政の役割・取り組みを検討し作られました。

し作られました。

内容は、『乳幼児期』『学童期』『青壮年期』『高齢期』の世代ごとに「栄養・食生活」「運動」「休養・心の健康」「喫煙」「飲酒」「歯科保健」「保健・医療」「事故」「リプロダクティブヘルス」の9領域について目標値を定めています。

「健康このえ21計画」を推進するために、住民の方々への情報提供とともに各組織や団体・関係機関との連携体制を強化し推進していきます。

また、「健康づくり推進会議」を平成15年度より発足させ、健康づくりの推進・評価をしていきます。



健康このえ21計画を策定しました。

平成15年度身体障害者巡回相談会の実施

日時 7月25日(金) 受付9時30分～12時
場所 九重町保健福祉センター
内容 「肢体不自由・聴覚障害・視覚障害」について、医師の診断による障害の認定（等級変更・新規手帳取得）。
補装具・日常生活用具給付の相談
施設入所等の総合的な相談
*相談希望者で、すでに身体障害者手帳を所持している方、また相談内容に関係する診断書・レントゲン写真・補装具等をお持ちの方は相談会当日に持参してください。
問い合わせ先 保健福祉課ふれあい福祉係 (☎76-3802)

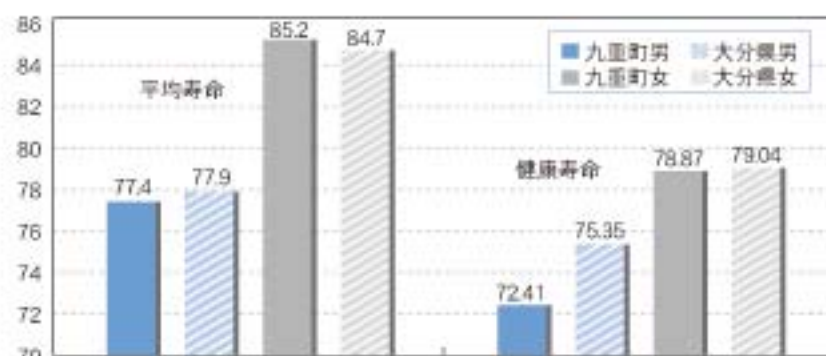
ひきこもり家族教室

日程 第1回:7月9日(水) 第2回:8月6日(水)
第3回:9月10日(水) いずれも13:00～15:30
対象 高校生以上の年齢の「社会的ひきこもり(精神病が原因でないもの)」の家族・保護者
場所 大分県精神保健福祉センター(ハートコムあおいた)研修室。参加費は無料です。
仲間づくりを目的にした家族教室です。参加希望の方はお電話でお申し込みください。
大分県精神保健福祉センター(ハートコムあおいた)
〒870-1155 大分市玉沢字平石908
TEL. 097-541-6290 FAX. 097-541-6627

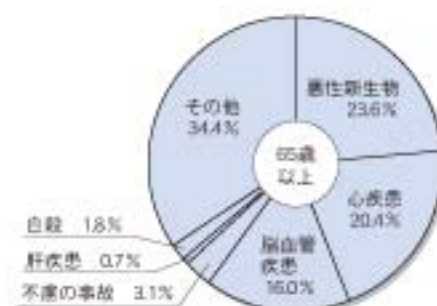
●九重町にはどんな問題があるの？

大分県平均と比べて
男性の平均寿命・健康
寿命が短い。

※健康寿命とは「あと何年自立して
生きられるか」を測る新しい健康
指標であり、0歳の健康余命です。

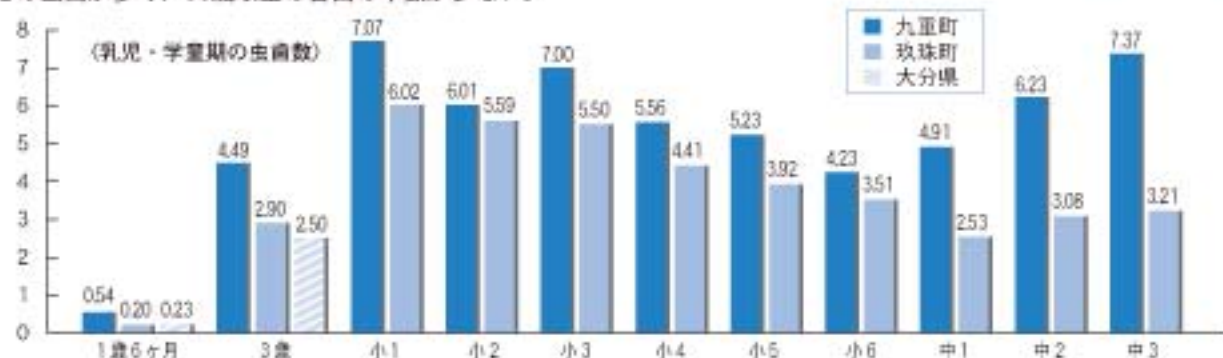


■三大生活習慣病による死亡が約6割を占める。 若い人の肝疾患による死亡が多い。

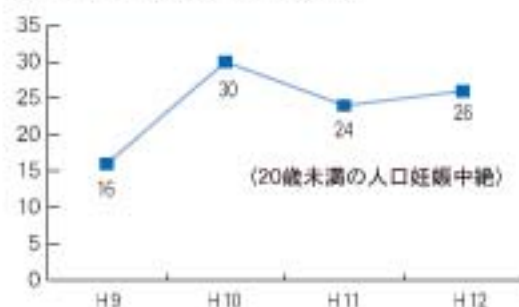


資料：人口動態統計調査年報

■子どもの虫歯が多く、65歳以上の自歯の本数が少ない。



■日田玖珠管内における20歳未満の 人口妊娠中絶が増加傾向にある。



資料：公衆衛生年鑑（大分県福祉保健部）

（65歳以上のひとりあたり平均の歯の本数）



資料：平成13年九重町高齢者生活意識調査

平成15年度健康・環境カレンダーの訂正とお詫び

下記のとおり間違っておりまして、訂正し、お詫びいたします。
なお、健診の前に対象者へご案内を個別通知します。

健診日	誤	正
8月8日 2歳児歯科健診・相談	(対象)平成12年12月14日 ～平成13年3月12日生まれ	(対象)平成12年11月10日 ～平成13年2月8日生まれ
11月14日 2歳児歯科健診・相談	(対象)平成13年3月13日 ～平成13年6月12日生まれ	(対象)平成13年2月9日 ～平成13年5月14日生まれ
2月13日 2歳児歯科健診・相談	(対象)平成13年6月13日 ～平成13年9月12日生まれ	(対象)平成13年5月15日 ～平成13年8月13日生まれ

大分県介護支援専門員実務研修受講試験

試験期日 平成15年10月26日（日）

試験地 大分市・日田市
佐伯市・宇佐市

受験申込書の受付期間
平成15年7月23日（水）
～8月12日（火）

受験手数料 7,000円

受験資格・受験申込書の配布等についてのお
問い合わせは

日田玖珠保健所玖珠支所（☎72-1150）また
は県高齢者福祉課（☎097-532-6106）まで。

今でもあの夕焼けの匂いが好きです。

「広報ここのえ」アンケート結果から

先日、県外などにお住まいの「広報ここのえ」購読者のみなさんへ、九重町の思い出などについてアンケートを行ったところ、17名の方から回答をいただきました。どれも九重町への愛情が伝わる素晴らしいものばかりでした。

紙面いっぱいびっしりと書いていただいた方も何人かいました。その内容の一部をご紹介します。なお、スペースの都合上、すべてを掲載することができませんでした。あらかじめご理解をお願いします。



※お名前の公表を希望しなかった方は、年齢と性別のみ公表させていただきます。

▼九重町にまつわる思い出

◆昭和21年に町を離れたので何とも言えませんが、今でもあの夕方の匂いが好きです。
(78歳・女性)

◆宝八幡宮の祭りが最も懐かしく思い出します。多くの店が並び芝居小屋も出ていました。小学生の時は「杖の旗技」に出るため、学校を早退し、家に帰って着飾り、御興行列に参加。多くの人の前で踊ることが誇らしかったことを思い出します。
(京都府 吉武小二郎さん・51歳)

◆秋の収穫祭というか菅原天満宮などでの杖と太鼓などお神楽に毎年参加していたこと。先輩に教えられ、また後輩に伝えていたのが懐かしい！
(大阪府 佐藤三三さん・55歳)

◆昭和30年代、豊後中村の駅前で上町・下町から練り歩いた山車がそろって優秀を競っていたのを思い出します。あのチキリン、チキリン、チキリンコンコン……はとても懐かしく、中村も活気がありました。もう一度あの雰囲気を感じたいものです。当時中学生でした。
(神奈川県 清水桂子さん・58歳)

◆女学校の卒業の思い出にとクラスメイトと十三曲がりに秋の一日を楽しんだこと。また盆花を、朝露に濡れながら青野山に登ったこと。現在の松岡公園で幼き日、日暮れまで友人たちと遊んだこと。麻生的にわらびを探りに行ったこと。56年前の青春を、遠く離れた地で懐かしく思う70路となりました。
(70歳・女性)

◆万年山、湧蓋山等の春夏秋冬の彩り。何といっても温泉は宝です。子どもの頃気づかなかったですが、食べ物も美味しかったです。タケノコ一つでも珍珠のはおいしいです。
(66歳・女性)

◆恵良の大火は今から60年前のことですが、生涯忘れることのできない思い出の一つになっています。火事現場に駆けつけたときは、役場の前の通りは煙が立ちこめて全く見通しが利かない状態になっていました。役場の屋根から消防団員らしい人が「早く水、早く水」と叫んでいました。自分の家を守るのが精一杯で誰にも応じることができません。私は付近に井戸水はないかと探しましたがありません。ふと目に付いたのが、桶屋さんの作業場に積み重ねられていた木製のバケツでした。「おじさん、これを借りるよ」と言って道路に投げ落とすしながら「川から役場までバケツリレーしてください」と大声で呼び続けました。防空頭巾ともんぺをはいた女性群で見事な人垣ができあがり、川の水は続々と役場の屋根のあたりに渡されました。空襲に備えての防火訓練がこんなところで役立とうとは思いませんでした。役場の屋根で大奮闘してくださいました人々バケツリレーで大活躍をしてくださった方々、またご存命ならばお会いしてお話したいような気がします。
(東京都 大野榮雄さん・79歳)

◆盆踊り(特に歌) ④秋祭り(小倉神社で行われた3日間) ④家族で良く歩いていた無料の庭園 ④宮原殿

(神奈川県 中川彌さん・64歳)

◆23年間通って来ました。戦中戦後、生活は豊かではありませんでしたが、豊かで美しい自然に恵まれ、特に森から眺めた九重連山・万年山・切株山など、忘れられない美しい故郷の景色です。川遊び・ワラビ採り等、また今は花粉症で嫌われ者ですが、焚き付け用に拾いに行つて炭俵を神社の石段から転がしたり。懐かしい思い出です。
(70歳・女性)

◆私の生家(右田物見塚)の近くの小高い丘の上に稲荷明神が奉られています。40数年前、故郷を離れる私に、母親が安全のお守りとして稲荷神社の床下の砂を小袋に入れて、お守り代わりに渡してくれましたが、今でも私のお守りとして大切に保存しています。
(東京都 水原三郎さん・67歳)

◆生まれ育った25年間を過ごした故郷で平穏で人情味豊かな農村だったと思います。秋には稲穂が重く垂れ、菅原天満宮や小倉神社のお祭りに心を躍らせた幼い頃のこと懐かしく鮮やかに思い出されます。
(神奈川県 落合みづきさん・71歳)

懐かしい食べ物

やき米・もち米で作った飽きん汁

(ミソはもとより、奥に使う野菜やしいたけも全て自家製ですが、現金や後から送るという、ずいぶんとばいばいする食べ物です)
馬刺・きな粉だんご・長者梅酒・石垣餅・栗・野いちご・山びょう・あびの美・柿・白栗漬・たぐあん漬

(「猪神の湯」があり、忘れられないものです)
冬の干し柿・ユズのお酢・しいたけごはん

▼九重町にどんな町で

あってもいいですか？

◆新しい良さ・古い良さを兼ね備えたすばらしい町になってもらいたいです。

(静岡県 伊藤忠行さん・58歳)

◆人間味(人情味)あふれる町。自然の景色が生かされており、懐かしさをいつも感じさせてくれる町。元気が、やる気の感じられる町。

(大阪府 佐藤三三さん・55歳)

◆帰る回数も少なくなりましたが、ふるさととは違っていて思うもの。昔の家並みが心に残っていますので、出来たらあまり変わってほしくないように思っています。しかし、温故知新という言葉もありますので、地方の文化の発展のためにも良いまちづくりも大切かと存じます。

(70歳・女性)

◆自然と温泉が豊富にあることがこれまでの九重町のアピールだったと思いますが、今後は若い人の定住を進める方策が大切だと思います。

(京都府 吉武小二郎さん・51歳)

◆自然がそのまま残り、それにふれあえる町。山と川と温泉があり、それぞれの施設が便利になっても自然にマッチしたものであり、景観をも大事にされた町。

(神奈川県 中川優さん・64歳)

◆九重山という雄大な自然を生かしたまちづくりをお願いします。「九州のチロル」のようなイメージも楽しいと思います。

(東京都 水菜宗二郎さん・67歳)

◆私たち故郷を遠くにいる者にとって、大分県は全国的に見てすごく自慢の出来る県だと誇りに思っています。

九重町は熊本の黒川温泉を早く見習うべき

と思います。黒川は湯布院の長所を見習ったと思います。

(59歳・男性)

▼市町村合併について

◆生活する者にとって、どんなプラス面・マイナス面があるか、どのような構想があるか。町民に詳しく説明があれば納得できると思います。

(静岡県 伊藤忠行さん・58歳)

◆合併して助成金等が多くなると思うことでしょうか。町が大きくなってもきめ細かな行政が出来ればよいとは思いますが、どうなのでしょう。どうしても……と言ふなら玖珠町との合併です。でも九重町の名前は、やはり残してほしいです。

(神奈川県 清水桂子さん・58歳)

◆40数年東京で生活していて、湯布院や日田の知名度は高いものがあります。特に湯布院の旅館の気持は今九州の中でも一番でしょう。九重町・玖珠町などはほとんど知られていないのが現状です。合併については、生活圏などから玖珠町との2町合併は最も適当と考えられますが、2町合併だけで大きくアピールできる特色が持てるでしょうか。広域的合併については、少し広すぎて漠とした感じがします。通商手段の進んだ現在でも高い山を隔てた地域の生活習慣・風土の融合・交通の便などを考えるとかなり無理が生じると思います。玖珠・九重・湯布院も考えられるのではないのでしょうか。湯布院町の観光ノウハウや人的交流もあり、この選択もありだと思います。

(東京都 水菜宗二郎さん・67歳)

◆全国的に知られている九重山を旗印に、温泉と農林業を結び、アピールしていく方

(京都府 吉武小二郎さん・51歳)

がよいと思います。以前、朝日新聞に掲載された小説の中で久住高原から飯田高原(案の口温泉)にかけての展開が全て久住高原の中のドラマとして表現されていたので、作者に指摘したところ、地元以外の人には、判りにくいので久住山イコール久住高原と表現したとの返事が来ました。観光面から考えると、湯布院・玖珠町・久住山・久住町・九重町・久住高原・飯田高原が一つの町(市)として広報すれば、山・高原・温泉・スキー・溪谷・イベントなどが今以上に認知されるのではないのでしょうか。

(大分市 帆足正利さん・66歳)

◆広域的合併が一番良いが、まずは(一期として)玖珠・九重の2町合併が現実的だと思います。議論は大切ですが、住民投票で意を早く決すべき。今はスピードも大事と考えます。

(神奈川県 熊谷忠義さん・53歳)

◆町名が消えたり変わったりすることは淋しいですが、行政面・財政面・また福祉面などで良くなることがあるのでしたら、合併も致し方ないことかと思えます。

(70歳・女性)

◆地方の小さな市町村が合併して、より豊かな都市づくりに知恵を出している自治体が増えていきます。互いの町村の良いところを活かして、より良い町づくりが出来れば、活性化にもつながると思います。

(70歳・女性)

◆今の政府の大きな考えでは、玖珠町との2町合併ではすぐに次の段階が求められることになりません。日田・玖珠広域圏の括りがベストではないかと思えます。

(京都府 吉武小二郎さん・51歳)

◆市町村合併をするのであれば、まず玖珠町

と合併して一つの市を作ることではないでしょうか。最初から大きな合併をする、施政がうまくいかないと引き返しのつかない心配があります。

玖珠郡は地形的に見ても、住民の歴史から見ても、ヨーロッパのスイスの国によく似ています。スイスは、フランス・ドイツ・イタリアなどの民族が入り込んで競合した末、合議制の共和国をつくり、世界に類のない平和な中立国を建設したわけですが、玖珠郡も四方を諸国に囲まれ、ある時代にはスイスのような合議制の政治が行われていたことを思うと、玖珠郡はまさに東洋のスイスと言っても良いのではないのでしょうか。玖珠郡は大自然の山々に囲まれ、美しい玖珠川の流れる桃源郷であってほしい。

(東京都 大野栄雄さん・79歳)



市町村合併・全国町村会はこう考える

4月30日、小泉首相の諮問（意見を尋ね求める）機関・地方制度調査会の中間報告が出ました。

これは、平成17年3月31日の合併特例法期限切れ後の市町村合併のあり方についてなどを提言したものです。

そのひとつが市町村連合的な発想を取り入れるものです。旧市町村の自主性を残し、緩やかな合併をめざそうというわけです。

具体的には、「基礎的自治体」の中に旧市町村単位を基本とし、地域協同的な「地域自治組織」を設けるとしています。

これを受け、全国町村会は、5月15日に「基礎的自治体に関する緊急要望」を自民党の麻生政務調査会長に要望しました。

要望内容は、次のとおりです。

わが国は、バブル経済崩壊の後、長引く景気低迷の中で国・地方を通ずる借入金残高は増加の一途をたどり、厳しい財政状況下にある。

このような中において、全国の町村は、経済効率・行政効率を優先して強力に進められている市町村合併の動きに対応するとともに、自らも行政改革に懸命に取り組んでいるところである。

しかるに、このような町村の実情を十分認識せず、あたかも、小規模町村の存在が地方分権推進の妨げになる。あるいは行財政改革の動きに反するというような議論が依然とされていることは極めて遺憾である。

過日、地方制度調査会から「今後の地方自治制度のあり方についての中間報告」が出されているが、それぞれの町村は、歴史的な経緯、文化・風土や自然的・地理的条件等が異なっており、特に市町村合併は地方自治の根幹に関わり、将来にわたる地域のあり方や住民生活に大きな影響を及ぼす最重要事項であるだけに、誰に強制されることが何よりも重要である。よって、下記事項について強く要請する。

記

- (1) 合併は、あくまでも関係市町村の自主的判断で行われるべきものであり、絶対に強制しないこと。
- (2) 現行合併特例法期限到来後における新法の制定⑦にあたっては、法律上人口規模を明示しないこと。
- (3) いわゆる「事務配分特例方式」⑤は、地方分権の理念等に反するものであり、容認できない。合併のスケールメリットが生かせず、合併ができない地域等のため、本会が提案している市町村連合（仮称）の制度化⑧を図ること。
- (4) 合併をしないことを理由に、財政的なペナルティー措置をとるようなことは絶対に行わないこと。
- (5) 合併推進や今後の地域自治組織の設置⑥にあたっての国及び都道府県の関与は、必要な助言や情報の提供等にとどめること。
- (6) 三位一体⑨の改革を進め、将来の地方税財政の姿を早急に示すこと。税源移譲等の検討にあたっては、人口が少なく課税客体に乏しい町村の実情に配慮すること。
- (7) 地方交付税のもつ財政調整機能、財源保障機能を堅持するとともに、町村が人口に比べ広い面積を有し、国土保全等に重要な役割を果たしていること等、その実態を反映した財政需要の算定を行うこと。

○現行合併特例法期限到来後における新法の制定

現在の合併特例法期限切れ後、国では、引き続き合併を推進するため、新たに合併促進法（仮称）の制定を検討しています。この中で基礎的自治体（本文の横線部参照）について、目標とする人口規模を明記するかどうかの検討がされています。町村会は、人口規模に関わらず、全ての市町村は基礎的自治体として位置付けるべき、としています。

○市町村連合（仮称）の制度化
合併だけを唯一の手段とすることなく、地域の実情に応じて様々な対応が取れるような万策を講じておく必要があります。町村会では、現在の制度に加え、広域連合制度をより徹底した「市町村連合」的なものの制度化を要望しています。

○三位一体

地方分権の推進の立場から、③国から地方への税源移譲、②地方交付税の見直し、③国庫補助負担金の見直しの3点を指しています。

○事務配分特例方式

もし、新法の中で、基礎的自治体の目標とすべき、人口規模が明記されると、その人口規模未満の自治体は、これまでの町村制度とは異なっており、権限の制限・縮小等が考えられます。この場合、窓口事務部門だけとなり、他の事務は県が処理すること等が検討されています。

地域のことは、身近な行政主体である市町村が行うべきです。県が行うことは、地方自治制度の崩壊につながるもので、住民の声が届きにくくなり、地域の実情に合った個性豊かな施策が展開できなくなります。

○今後の地域自治組織の設置

合併後において、住民自治を確保する観点から、合併前の旧市町村単位に法的性格を有し、一定の事務処理の権限や機関をもった組織を設置するかどうかの検討がされています。

「地方制度調査会」の最終答申は、11月頃に出る予定です。それにより今後の地方自治体のあり方が示されることとなります。



九重町文化財調査報告第25報として、『失われた風景〜昭和の記憶〜』が発行されました。

この本は全48ページ。写真の数は70以上。今では大変貴重となった農村に暮らす人々の姿が集められています。一見すると、終戦直後の写真と思いきや実は一九七〇年代のものばかりということにまず驚きます。

この本を中心になって作ったのが、九重町文化財調査員の内恵克彦さん（下旦6）。

ここにおさめられた写真も内恵さん自身が撮ったものばかりです。写真に添えられたコメントも当時のメモを元に内恵さんが書いています。

内恵さんは、もともとカメラが好きで、写真の題材として思いついたのが農村風景です。しかし、当時は歴史資料として残す考えはなかったそうです。

ところが今、残された写真を見たとき、失ったものの大きさを改めて感じます。内恵さんはこう話します。

「21世紀になって改めて見直すと、あれはなんだったんだろうと思いました。」

昭和の農村風景と今に

失われた風景

〜昭和の記憶〜 発刊



今、日本は大量生産・大量消費社会の

つけが回ってきていますよね。この生活をしていく頃は今に比べると貧しかったかもしれないけど、充実していたのではないだろうか。この時代は時代として、当時の人々は満足していたのではないか、と思いました。

写真のような風景が急速に消えたのは1980年代だと内恵さんは話します。同じ頃、日本はバブル経済に向かい、モノを簡単に作り、簡単に捨てていくことが急速に広がっていきます。多くの人が指摘するように、人と人の関係もこの頃から、どこか寒々しくなっています。

また、この写真集には職の世界と題し、道具づくりの風景も多く収録されています。その中の1枚にブリキ屋さんが保存用の缶を作っている写真もありました。多くの家が今でも米櫃などで使っているはず。

「家もまだ使ってますよ。当時のものは長く使える。その分ゴミも出ない」と話す内恵さん、これらの写真を見ることは、単に昔を懐かしむだけでなく、今の社会を見直し、これからの時代を生きていくヒントになるのではないかと考えます。

そう言った意味でも、今から大人になる人に見てもらい「何かを感じてほしい」と言います。

人と人とのぬくもりを感じるこの本は一部一、〇〇〇円。生涯学習センターで販売しています。（03888）

昔の写真募集

今や写真も大量消費の時代です。しかし、昔は違っていました。カメラ自体も高価でした。カメラの前にツンとすました表情で立つとき、なにやら暗れがましい気持ちになった記憶が誰にでもあるのではないのでしょうか。

モノはなかったかもしれないけど幸せな日々……。大事な記憶をとどめた写真はその人だけでなく、見る人すべてに何らかの思いを呼び起こすはずです。それはふるさとを見直す気持ちにもつながるのではないのでしょうか。

広報このえでは自宅に眠っている古い写真を募集します。

昭和40年代までに町内で撮られた写真で、子どもの遊びやすっかり見かけなくなった光景など日常生活をとったものならなんでもけっこうです。よろしくお願いします。

九重町役場・企画調整課広報広聴係（76-3807）

こんな本も図書館に入りました

昭和30年代の農山村に暮らす人々のありのままを写した370点の記録写真。すばらしい本です。



昭和30年代 農山村の暮らし
〜高度成長以前の日本の原風景
武藤 隆 写真 須藤 功 聞き書き

今年のキャンペーンレディはこの二人

キャンペーンレディは、観光宣伝などを通じて九重町の良さを全国にアピールするもので、昨年より任期が2年となり、毎年1名ずつを新たに選出しています。

今年新たに選出されたのは、佐藤恭子さん（桐木）。昨年選出され、残り任期1年となった馬場美由紀さん（無田下）とともにがんばっていただきます。

お二人に抱負などを聞きました。

佐藤恭子さん（写真右）

キャンペーンレディに決まったと聞いてびっくりしました。まだわからないことだらけで不安ですが、これから勉強して、いいPRをしていきたいと思っています。

馬場美由紀さん（写真左）

外から家に帰ると、九重町の良さは自然だなあ、と実感します。1年目はPRがうまくできませんでした。2年目はがんばって、いいPRをしていきたいと思っています。



この町の良さを伝えます

お疲れさまでした…



これまで2年間、キャンペーンレディとしてがんばっていただいた佐藤優子さん（滝上）・菅和美さん（下旦5）がこのたび退任しました。お二人に感想などを聞きました。

佐藤優子さん（写真右）

いろいろな所に行きました。一番印象に残ったのが、神戸の三宮駅前でトラックの荷台に登り、観光宣伝しながらパレードしたときです。広島でラジオに出たこともあり。なかなかアドリブができなくて…これが一番緊張しました。2年間で大変貴重な体験をさせていただきました。いろいろなことを知り、九重町が前よりも好きになりました。

菅和美さん（写真左）

最初は九重町の知識がなく、どうしようかと不安でした。しかし、今では町外の友だちなどにも、良いところを紹介できるようになりました。たくさんの人に出会うこともできました。2年間はあっという間でした。今後も違った形で九重町をアピールしていきたいと考えています。

緊急走行に対する
理解と協力を！

- 消防車や救急車は、一刻も早く火災などの現場に行き、消火活動を行ったり、救急処置を行ったりし、速やかに病院へ搬送しなければなりません。このため緊急時に迅速に通行するため、道路交通法では「緊急自動車」として、一般の車両よりも優先して走行することが認められています。
- 消防車両の円滑な緊急走行のために、みなさん一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。
- サイレンを鳴らして接近してきた場合は、一般車両は進路を譲ってください。
 - 交差点付近では、交差点を避け、道路の左側によって一時停止してください。
 - 高速道路などで本線に入ろうとしているときは、これを妨げないようにしてください。
 - 緊急走行時にサイレンを鳴らすことは、法令で義務づけられています。夜間の緊急走行時のサイレン音に対し、付近のみなさんのご理解をお願いします。



今年度新たに農業に取り組む人を激励しようと、新規就農者激励会が4月23日、玖珠九重地方振興局で行われました。今年度の玖珠郡の新規就農者は6名で、そのうち5名が九重町のみなさんです。

式では新規就農者の決意表明（下記参照）や恒例となっている記念品（スコップ）贈呈がありました。

坂本町長は「農業は基盤が必要。みなさんは、すでに両親が基盤を築いており、その上に新しい感覚を持って経営してもらいたい。それに農村の持つ古い体質・しがらみを変えてほしい。昔、農業は（価格の上下が激しく）一発逆転があったが今はない。計算ができるということであり、やはり努力が必要。ネットワークをつくり夢に向かって、誇りを持ちがんばってほしい」と激励しました。

新規就農者 激励会

新規就農者激励会



左から佐藤弘文さん・矢野武志さん・高倉常夫さん・日野聡一さん・日隈昌弘さん

新規就農者のみなさんの抱負

矢野武志さん（田代）酪農・和牛

激励会では、新規就農者を代表して矢野武志さんが「規模が小さくとも、経営者であるということを念頭に置き、どのようにしたら儲かるか、地域に貢献できるかを、自分自身で納得できるまで経営していきたい」と決意表明をしました。矢野さんは13年間の会社勤め、1年の研修を経て、酪農と和牛の経営を行います。「乳牛と和牛の利点をミックスした経営をしてみたい」と抱負を語っていました。

そのほかの新規就農者のみなさんにも抱負を聞きました。

高倉常夫さん（無田中1）和牛・ブルーベリー

今は繁殖牛が少ないので、頭数を増やし、規模を拡大したいです。ブルーベリーにも取り組んでいるので、そちらも規模拡大をしたいです。

日隈昌弘さん（横尾）和牛

和牛の頭数を増やし、規模を拡大していき、地域に貢献できるようになりたいです。

日野聡一さん（電門）和牛

新しい牛舎を造ったので、それに合わせ増頭したいです。また人工授精士の資格も持っているので、技術を磨き、親父に負けなようがんばりたいです。

佐藤弘文さん（相狭間）米・しいたけ

がんばります。



くらしの情報追加

大分県保育士試験

試験(筆記・実技)日
8月7日(木)～8月10日(日)
試験会場 別府大学
試験申し込み
6月30日(月)まで
詳細は県庁子育て支援課
(097-536-1111 内線2702)
まで

4月23日には、同会場玖珠郡農村青年連絡協議会総会も行われました。開会にあたり本協議会会長の杉山秀樹さん（旭）が「農業を取り巻く状況は決してやさしくないが、自分の選んだ道は間違っていないと信じてがんばりたい」とあいさつしました。

総会では昨年の実績や今年度の取り組みについて協議。今年度は、プロジェクト研究や各種研修会・交流会などを行い、協議会の存在を内外にアピールすることに決定しました。

なお、役員改選も行われ、新会長に秋好博美さん（玖珠町）、副会長に豊頭将治さん（無田中一）が選出されました。

＊玖珠郡農村青年連絡協議会は郡内の営農青年で構成されています。町内には、このえ営農クラブ（11名）、飯田営農クラブ（13名）の2つの営農クラブがあります。

玖珠郡農村青年 連絡協議会総会

綱に託した思いが世界へ

「ぜったいに勝つ。負けるはずがない、と思っています」

試合展開が不利になろうとしているとき、どんなことを考えますか、の質問にそう答えるのは、野中壽賀子さん（見良津）と佐藤文子さん（川上2）。

二人が参加している「大分コスモレディーズTC」は、2月9日に東京体育館で行われた全日本綱引き選手権大会で2年ぶり6回目の優勝。来年2月イギリスで行われる世界大会への出場を決めました。野中さんが綱引きを始めたのが13年前。地元で結成された女子チームに参加したのがきっかけです。最初は体力維持のために始めましたが、徐々にその魅力にとりつかれます。そして、佐藤さんを誘います。「人数が足りなくて誘われたと思います」と笑う佐藤さん。当時は瘦せて細かったそうです。しかし、「意地で」続けて来ました。



野中壽賀子さん

人は綱引きの魅力を語ります。

「それに綱引きをしたおかげで仕事が苦にならなくなりました」と笑います。野中さんは昼間「なまじり」などの農業を、佐藤さんは玖珠町にあるグループホームへ勤めています。どちらも重労働です。野中さんが世界大会に出るのがオランダ・アイルランドに続き今回で3回目。佐藤さんは2回目になります。コスモレディーズは両方の大会で金メダルを獲得。国内でも圧倒的な強さを誇っています。しかし、昨年の国内大会では、試合前日にアクシデントが。

佐藤さんが腰を痛め、試合に出られなくなりました。試合当日、佐藤さんは、結果をホテルのベッドで待ちます。とても長い1日だったと振り返ります。

「とにかく優勝してほしい」

と願い続けました。

しかし、優勝を逃します。「ものすごく悔しかったです」その悔しさを跳ね返しての今回の全国制覇、喜びはひとしおだったようです。「2年分喜びました」と笑います。

「綱引きは1人、2人がスターになるのではなく、みんなが同じ役割を持ち、ひとつになってするもの」

と野中さんは語ります。「8人が一緒になって取り組むべしさがあって」とは佐藤さん。だからこそ、ひとりの動きが結果に大きく影響してきます。

「試合中は、大変な重さが足や腕にかかります。やがて姿勢が崩れ、ロープをもてなくなってきました。ひとりでもそうになると、ロープを伝わっ



佐藤文子さん



▲松木地区を中心とした男性の綱引きチーム「龍青会」との合同練習

てわかります。私は最初にそうならないように、がんばろう。みんなそう思っています。自分が「自分の役目」を果たすこと。そこがコスモレディーズの強みだと思います」と野中さんは話します。

佐藤さんも「8人で1本のロープを引きながら目を閉じていると、他の人たちの動きが伝わってくる。ひとりでも負けれると思うと、そこからロープの力が抜けていく」。

現在は、週2回の地元練習の他、週1回の割合で大分市へ通っています。世界大会が近づくと、その頻度も増えてきます。仕事の合間も鉄アレイやハンドクリップを使って体を鍛えるという野中さん、目下の悩みは時間がない

こと。家族も家事を分担するなどして野中さんを応援しています。佐藤さんも「家族の協力があるからがんばれます。周り、自分の体力と相談しながら、続けられるだけ、続けたい」と話します。

「思えばかなう」

綱引きを始めて、なにか人生訓みたいなのがありましたか、の質問に野中さんはしばらく考えてこう答えました。

前からそう思っていたそうですが、綱引きを始めてその思いはさらに深まりました。野中さんと佐藤さん、二人の綱に託した思いが、また世界に羽ばたこうとしています。

おかげさまで10年続きました ～良い映画を見る会10周年



この町に“良い映画”という文化を持ち込みたい。そんな願いを続けて10年。今年で良い映画を見る会10周年を迎えました。

この会を発足当初から引っ張ってきたのが、麻生二三子さん（上且）。

「よくぞ10年続けてきた」という感想どおり、始めた当初はこんな

に長く続くとは思わなかったそうです。「この会を通じて人の出会いの大切さを改めて感じた」とも話します。

この会が始まったのも「ひとつの出会い」がきっかけでした。九重町から一番近い映画館。実は小国町にあります。小国シネホールという小さな映画館がそれです。ここを運営しているのが北村栄次郎さん（右上写真）。田舎の町の小さな映画館ですから決して経営は楽ではありません。しかし、映画を上映し続けて出会ういくつもの感動が忘れられずに続いています。こんなこともありました。ある日ひとりの少年が入場料を握りしめて息を弾ませながら遠くからやって来ます。手渡されたお金には少年のぬくもりが残っていました。その日の観客はその少年ひとりだけ。たったひとりの観客のためにフィルムを回したとき受けた表現しようのない感動。「ぜったいこの映画館を閉じてはならない」と思った、と北村さんは話します。

この北村さんとの出会いが九重町良い映画を見る会のスタートでした。

そして第1回の上映会が平成5年12月8日、「滝廉太郎物語～わが愛の譜」で実現。

以来、30の作品を上映し続けました。

「徐々に、町民の間に、映画に親しむ雰囲気というのかなあ、自然と次の上映作品を楽しみにすることが浸透してきたのが一番うれしいですね」と麻生さんは話します。

会場も良くなりました。最初は足立文化会館の3階にスクリーンを張り、窓に黒幕を張り、お客さんは、冬は毛布・夏は蚊取り線香、といった感じでした。それはそれで味わいがありましたが、文化センターが完成以後は完璧に近い環境で上映できるようになりました。スタッフも増えていきます。ところで、「良い映画」とは何でしょう？麻生さんに質問しました。



「癒しを感じる映画かな。もちろん、悲しいと思うこともあるでしょう、心を打たれることもあるでしょう。でもそれは癒しにつながるといいます。心も温かくなりますね。それが映画の魅力でもあると思います」

麻生さんは若い頃は洋画派でした。今でも印象に残っているのが「カサブランカ（'42米）」・「外人部隊（'33仏）」「格子なき牢獄（'38仏）」など。しかし、一番涙したのは、戦後、玖珠町にあった30人も入らない小さな映画館で観た「野菊の如き君なりき」。伊藤左千夫の「野菊の墓」を原作に木下恵介が監督した作品です。

良い映画を見る会の上映作品を見ると、比較的日本映画が多いのに気づきます。

今、日本映画は、ハリウッド映画などに押され、低迷しています。

「食わず嫌いだと思いますよ。日本映画には素晴らしい作品がいくつも残されています。それに言葉がわかりますので、心の奥までわかるっていうのかなあ、そんな良さがあります」今回、10周年記念として、日本映画史上に残る傑作「二十四の瞳」の上映をします。野菊の～と同じく木下恵介監督の作品です。主演は高峰秀子。

「古い日本映画にはしっかりとしたものがあるんですよ。観終わったあとの、しっとり感が心地よいですね。」

「二十四の瞳」は、昭和3年から戦後にかけての激動の時代に翻弄される一人の女教師と12人の子ども達を中心に描いています。戦争の記憶が未だ生々しかった昭和29年の公開当時、多くの人がこの映画に涙したといわれています。麻生さんも、この作品を当時観ています。「教師をしていた関係で、先生と生徒の心のふれあいが印象に残ったけど、今観るとまた違った印象を受けるでしょうね」と話します。

「今の世の中を見ると、なんか殺伐としていますよね。こんな時代だからこそ、他人を思い、一生懸命に生きることが大切です。この映画は、そんなことを問いかけています」

良い映画を見る会、今年で数えて10周年。来年は満10周年。これからも良い作品を上映続けていきます。

九重町良い映画を見る会10周年企画

二十四の瞳 上映会

7月5日(土)

②13:30 ②18:30(2回上映)

前売り券 大人700円 高校生以下300円

*当日券は200円増し

場 所：九重文化センター

主 催：九重町良い映画を見る会

お問い合わせ先 ☎76-3888 (九重文化センター)

1954年・松竹

監督・脚色：木下 恵介

原作：森井 栄

主演：高峰 秀子



昭和3年から終戦翌年にかけての一人の女教師と12人の生徒たちの交流を感動的に描いたこの作品は、日本映画史上に残る傑作とされており、多くの人の涙を誘いました。舞台は香川県小豆島。平和で、のどかな島に起こった激動の昭和史を描きます。主演の高峰秀子がすばらしく、その名演ぶりまでも語り継がれていっています。また、「何げば導く」「七つの子」「浜辺の歌」といった唱歌が効果的に織り込まれており、小豆島の美しい自然風景と相まって叙情性を高めています。

学校が大変身!



飯田小学校

教育委員会だより

1. 学校が大変身 ㊦

高原の町・飯田に、ひときわ鮮やかな新装校舎2棟、大規模改修終了の姿身飯田小学校です。今年度は児童数155名となり、町内では一番児童数の多い小学校となりました。『元気いっぱい、やる気まんまん、やさしさあふれる飯田っ子』をめあてとして、がんばっているところです。

2. 一輪車に夢中 ㊦

今、子ども達が夢中になっている遊びが一輪車。寸暇を惜しんで、くるくるくと曲乗りに夢中です。1年生も上級生に混じって練習中! すぐ乗れるようになることでしょう。大人にとっては、大変難しいのですが、子ども達の上達の早さといったら驚きです。



3. 中庭の畑には ㊦

昨年度、PTA環境整備部のみなさんのお骨折りにより、学級菜園ができました。中庭に新しくできた畑で、野菜の栽培をしています。農協女性部の方のご指導により、耕して草取りをして、苗を植えました。苗が丈夫に育つように稲藁を苗の根本に広げました。実りが楽しみです。

4. 楽しい朝読書

新築同様の素敵な校舎のなかには、二つの図書館とミニ図書コーナーがあり、読書活動に力を入れています。朝の読書タイムには、おうちの方の読み聞かせボランティアもあり、子ども達の心は、本の世界へも広がっています。『1年間に100冊以上読書』をめざしています。

5. 楽しい活動がいっぱい。

飯田ならではの行事や学校外活動も盛んです。親子登山・スキー教室・氷の祭典・自然観察会・乗馬等々。すばらしい大自然に恵まれた地域の特色を生かした教育活動の中で、より確かな『生きる力の育成』と『基礎・基本の定着』を教育目標に掲げ、心身共に健康で人間性豊かな児童の育成にがんばっています。また、活力ある飯田の地域の方に見守られて、心豊かな子ども達がすくすくと育つことを楽しみにPTAの活動も盛んです。学校・家庭・地域の連携の中で、将来の九重を背負って立つ若者が、飯田の地から巣立つようにと願いを込めて……。



いじめ・不登校等対策相談室からのお知らせ

子どもの健全育成をめざして教育相談をしています。秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

1. 相談場所 日田教育事務所内相談室(大分県日田総合庁舎4階)
☎0973-23-7631(相談室専用電話です)
2. 相談時間 月曜～金曜 9:00～17:00(祝祭日・年末年始を除く)
3. 相談員 専任スタッフ(1名)が常駐
4. 相談方法 電話相談・来室相談・訪問相談
5. 対象者 児童・生徒・保護者・教育関係者・一般
6. 相談内容例 いじめ・不登校・人間関係づくり・集団生活への適応・学習・進路・しつけ・生活習慣・学級経営・学校経営・教科指導・地域の子どもの健全育成

「子ども読書」アンケート

- 4月23日～5月12日は、第45回「子ども読書週間」でした。

図書館では、今年の標語「たいせつな一冊、一生のともだち」にちなんで、みなさんに、「大切な一冊の絵本」を聞かせていただきました。ご協力ありがとうございました。アンケートをお願いすると、「題名はなんだったかな～」と、一生懸命思い出す方（大人）が多いのが印象的でした。みなさんが、小さい「時」を思い出し、読んでくれた「人」を思い出し、本との「出会い」がどんなものだったかを思い出していただけたなら幸いです。そして、ぜひその気持ちを自分の子どもやまわりの子ども達に伝えてあげてください。たくさん子ども達が、それぞれに「大切な一冊」を持てるように！図書館も応援しています。

- アンケート結果を紹介した「絵本コーナー」を作りましたので、ぜひ足をあはこびください。

昔読んだ絵本も大人になって読んでみると、また違った感動があると思います。

もちろん、子ども達がたくさん来てくれることを願っています！

絵本

アンケートの中から多かったものを
ご紹介します。



『いない いはい ばあ』

松谷みよ子・著／瀬川康男・絵／童心社／児童

Aさん：子どもに初めて読み聞かせた本なので。

Bさん：子どもが小さい頃、「怖いけど……読んでもらいたい！」と、毎朝大騒ぎしながら読んで聞かせた絵本です。

赤ちゃんは「いないいないばあ」が大好き。絵本の中の、動物たちの表情豊かな「ばあ」には、大人も思わず笑ってしまいます。「松谷みよ子 あかちゃんの本」シリーズ。図書館にありますので、他のシリーズもぜひ読んでみて下さい。



『スーホの白い馬』モンゴル民話

大塚勇三／再話、赤羽末吉／画

福音館書店／児童

Cさん：何度読んでも涙がでます。赤羽さんの絵が大好きです。

Dさん：子どもに読み聞かせをした。胸にジーンとくる悲しさです。
Eさん：子どもの頃先生に読んでもらった。みんなと一緒に泣きながら涙をかくすのに必死だった。

アンケートの中で最も多かったのが、この本です。赤い民族衣装を着たスーホが白い馬を飼っている表紙が印象的です。馬蹄琴という楽器ができた由来をお話しています。悲しみの中に強さがある本です。

※この本は以前図書館にあったのですが、残念ながら紛失しています。同じ内容の『モンゴルの白い馬』という本がありますので、読んでみてください。「スーホの白い馬」は再購入する予定です。

新着本

『イラクからの報告』

江川紹子・文／森住 卓・写真／小学館文庫／一般

「戦時下」にあかれ続けるイラクという国で、フセインとブッシュの意地の張り合いに翻弄される人々の素顔と本音を描いた、イラク戦争直前のレポートです。江川さんといえば、一連のオウム真理教報道で菊池寛賞を受賞したことでも有名なジャーナリストです。鋭い観察力と人間味あふれる目で、イラクの人々をどうとらえ、描いているか・・・必見です。

『久和ひとみが生きたこと』

40歳で散ったニュースキャスターの想い

久和ひとみ・著／小学館／一般

2年前、40歳という若さでこの世を去った久和ひとみさん。「JNNニュースの森」「TXNニュースアイ」等々のキャスターを務めていた頃の、知的でハツツとした顔は忘れられません。

「これからニュースキャスター志望者が現れたら、まずこれを読みなさいと私はすすめる」－筑紫哲也－

本を読み進めていくうちに、このコメントが《なるほど》と感じられます。

● ～学ぶことがもっと楽しくなる～ ●

CD・CD-ROM付きの教材が登場！ 貸し出しもします。

- ★『原色ワイド図鑑』『動物』『鳥』『昆虫』等 全6巻／ガイドブック1冊、CD-ROM1枚セット／学研
 - ★『高校生のためのオーラルコミュニケーション(英語)』／教科事典1冊、CD2枚セット／学研
 - ★『英語CDテキスト～楽しい英会話編～他』／教科事典1冊、CD3枚セット／学研
- その他、フランス語、中国語、イタリア語などのCD付きテキストブックもそろいました。CDやパソコンを使うマルチメディア教材は、学生さんやこれから語学を始める方へ、特にお勧めします。ぜひ一度お試しください。



久和ひとみが
生きたこと

人権を考える講演の夕べ



演 題：「人権意識は幼い日から」

えいようこ

講 師：江森陽弘さん

(ジャーナリスト)

入場無料

日 時：7月17日(木) 19:30～

場 所：九重文化センター

江森陽弘さん～「江森陽弘モーニングショー」のメインキャスターとして活躍。1932年東京生まれ。朝日新聞編集委員などを経てフリーに。季刊誌「SORA」編集長を務める傍ら、東京都町田市教育委員として「学級崩壊」「いじめ」の原因を調査・分析する。NPO「地球こどもくらぶ」理事も務める。また、高齢化・地域・人権問題等にも取り組む。新しい話題や過去の事例にふれながらの講演はわかりやすいと好評。



まちの話題

誰もが気軽にスポーツ ～県民すこやかスポーツ祭

子どもからお年寄りまで、いつでも、どこでも、だれもが気軽に参加できるスポーツを、と県民すこやかスポーツ祭久大地区大会が5月11日行われました。この大会は日田玖球市で一斉に行われ、九重町ではミニバレーボール大会が九重文化センター体育館と東飯田中学校体育館で行われました。ミニバレーボールには市町村から14チーム一五〇名が参加（うち九重町からは4チーム）。開会式では坂本町長が「今日は健康づくりだけでなく、友達づくりをし、交流を深めてください」とあいさつしました。



まちの話題

年寄りの青年をめざして
～寿大学入学式・始業式

第33期となる寿大学入学式と始業式が4月23日、九重文化センターで行われ、11名が新たに入学、60歳から81歳までの総勢一三五名による新学期がスタートしました。

武典で本大学の学長である坂本町長は「教育とは、ときに希望を絶つことではない。人生の円熟期を迎えたみなさんにとって、その意味はより深い。青春とは心の若さである。心の若さで勇氣と希望に満ちた人生にエールを送りたい」とあいさつしました。

式では新入生を代表して佐藤博昭さん（相模原）が「力強く元気にがんばりたい」と決意表明。続けて在校生を代表し、武内正長さん（川西）は、広瀬淡窓の詩を紹介しながら「年寄りの青年をめざしてがんばってください」とあいさつしました。

寿大学は、高齢者だからこそ、あるいは高齢者でなければできないことを見つけ、取り組むことを通じて、高齢者の生きがいと自尊心を生み出そうと昭和46年度から設置されています。



まちの話題

亀鶴苑開苑祭

老人ホーム亀鶴苑は開苑して今年で34年になります。それを記念して4月15日に開苑祭が行われました。亀鶴苑は、故足立正平さんの奇跡により建設されましたが、この日は長男の謙介さん（雷迫下）をお迎えしたほか、玖珠・九重両町長も参加、楽しいひとときを過ごしました。開会行事で坂本町長は、足立正平さんの功績をたたえ、上で「体が動ける人は動かし、仕事ができる人は仕事し、楽しい苑にしてください」とあいさつ。また足立謙介さんは「今後元気に、この老人ホームをフル活用してください」とあいさつしました。



入苑者のみなさんは、カラオケや話合などを楽しみ、亀鶴苑34年目の春を祝いました。

緑化フェアは6月29日まで



大分スポーツ公園(大分市のビックアイ周辺)を主会場に、第20回全国都市緑化おおいたフェア「おおいた 緑・香り 夢フェスタ '03」が行われています。

このフェアでは、市町村デーが設けられています。これは各自治体の独自の企画・運営による催事・観光PRを通じて参加者との交流を図るものです。

5月18日から3日間は、玖珠・九重デーとし、両町の物産販売や郷土芸能の披露が行われました。会場には、JA玖珠九重・JA飯田などの農産物や加工品が持ち込まれ、人気を集めていました。

またステージでは、九重あばれ獅子や九重もちつき踊りなどが披露されました。

緑化フェアは6月29日(日)までです。



入場料 (佐野植物園会場は入場無料)

大人(18歳~65歳未満) 1,300円
子ども(小学生以上18歳未満) 700円
シルバー(65歳以上) 900円

*未就学の幼児、身障手帳等保持者とその介護者1名等は入場無料です。

緑化フェアホームページ

<http://www.oitayumefesta.jp>

*企画調整課にパンフレットがあります。



厳しく罰します。自動車の不正改造

◆不正改造するだけで違法です。

改正された道路運送車両法では、道路運送車両の保安基準に適合しなくなるような自動車の不正な改造行為そのものを禁止しています。

◆整備命令制度が強化されました

不正改造車を確実に適正な状態に整備させるため、整備命令が強化されました。街頭検査などを通じて不正改造車と認められた車には、整備命令が発令され、整備命令標章(ステッカー)がはりつけられます。(右図) →

整備を命令された自動車の使用者は、保安基準に適した状態に車を整備した上で、発令後15日以内に、運輸支局などに車を提示することが義務づけられます。

《不正改造の罰則等》

- 道路運送車両の保安基準に適合しなくなるような改造を施した場合~30万円以下の罰金または6か月以下の懲役
- 整備命令発令後15日以内の現車提示を怠った場合、または、不正にステッカーをはがした場合~一定期間(最大6か月)自動車の使用停止。自動車検査証およびナンバープレートの没収 など

《やめてください違法な改造》

■運転者席、助手席の窓ガラスへの着色フィルムのはりつけ

運転席、助手席の窓ガラスは、着色フィルムをはりつけた状態で、可視光線透過率が70%未満の状態にすることが禁止されています。

■灯火類の灯光の色の変更

ブレーキランプや方向指示器などの灯火器は、それぞれ灯光の色が定められています。クリアレンズなどを使用している場合、規定の灯火色の着色バルブを使う必要があります。

■タイヤやホイールの車体(フェンダー)外へのはみ出し

■消音器(マフラー)の取りはずし・切断

交通安全

不正改造車

整備命令発令日 年 月 日

国土交通省

(使用期限)

みほん

平成15年町内地区別事故発生状況(累計、発生)

地区別	人身事故			物損 件数	
	死者	負傷者	件数	事故	計
東飯田	0	13	6	26	32
野上	0	10	7	29	36
飯田	2	21	11	96	107
南山田	0	9	6	28	34
計	2	53	30	179	209

(平成15年5月末現在)

障害児巡回教育相談

日時 第1回：7月8日(火) 第2回：10月10日(金)
いずれも10時30分～15時

会場 日田教育事務所
(日田総合庁舎内・日田市城町1丁目 ☎0973-23-5125)

相談内容 障害のある幼児児童生徒の指導や接し方について、保育・教育・医療に関すること

相談員 医師・大学教授・児童相談所相談員・特別支援教育関係者等

相談の申し込みは、九重町教育委員会(☎76-3812)まで相談は無料です。秘密は厳守します。

消防設備士試験準備講習

日時 平成15年8月3日(日) 9:30～16:30

会場 大分県教育会館(大分市下郡) ☎097-556-6411

種別 1類・4類・6類(各甲乙種)

*2・3・5・7類は除く

受付期間 6月23日(月)～7月22日(火)

*土・日は除く 9:00～17:00

受験申請書の交付は県内各消防本部

問い合わせ先 (財)大分県消防設備安全協会

☎097-537-3125

第13回全国花のまちづくりコンクール

花をテーマにした地域づくりやまちづくりのコンクールです。

部門 ①団体部門 ②個人部門 ③企業部門

応募の受付期間 7月15日(火)まで

応募用紙は(財)日本花の会のホームページ
<http://www.hananoka.or.jp> から入手できます。

お問い合わせは (財)日本花の会・コンクール係

〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6

TEL 03-3584-6531 またはTEL 03-5561-2828

FAX 03-3584-7695

平成15年度初心者狩猟講習会

日時 ※網・わな猟(甲種)～7月28日(月)

※第1種銃猟・第2種銃猟(乙・丙種)

～7月29日(火)・30日(水)

時間はいずれも10時～17時

場所 大分県教育会館(大分市下郡)

講習内容 法令狩猟鳥獣の判別・猟具の取り扱い・実技

受講料 種別により7,000円～9,000円

受付期間 7月1日(火)～7月11日(金)

申込先 大分県猟友会玖珠支部 ☎72-0166

(玖珠町岩室943 松山美智男さん)

保育士の登録手続きをしましょう!

現在保育士として業務を行っている人は、都道府県知事に登録する必要があります。都道府県知事から保育士証が交付されて初めて保育士として名乗ることができます。保育士として業務を行っていない人については、必ずしも登録する必要はなく、登録しなくても資格がなくなるわけではありません。ただし、今後保育士として業務を行おうと考えている人は、業務に就く前までに登録しておく必要があります。

登録申請に必要な保育士登録申請書は役場幼児教育課(☎76-3828)にあります。

*登録申請は登録事務処理センターに郵送してください。登録手数料4,200円。受付はすでに始まっています。

木造住宅に37万円の補助金 ～「安心・健康住宅」普及促進事業

事業内容

①安心住宅：耐震性・高耐久な木造住宅にするため、柱(管柱)の太さを12cm以上とする(含水率25%以下の乾燥材を使用する)。

②健康住宅：内装(押入・壁面・床面)面積80㎡以上にスギ・ヒノキなどの県産材を使用する。

③環境共生住宅：自然環境との調和等に配慮した木造住宅の建設を促進する(ウッドデッキ等外構施設への県産材使用など)。

採択基準

(事業内容に掲げられた要件以外に次の基準があります)

①新築のために金融機関から資金を借り入れること

②延べ床面積125㎡以上280㎡以下の木造住宅

③木材使用量が30㎡以上で県産材の使用率がおおむね80%以上

④モニターとして情報提供に協力できる人

⑤平成16年3月末までに完成すること

募集期間 第1次 6月末(25日) ※応募者が多い場合は抽選。

問い合わせ

大分県玖珠九重地方振興局林業課 ☎72-3111

大分県林業振興課 ☎097-536-1111 内線3849

毒物劇物取扱者試験

試験日時 平成15年8月7日(木) 午前10時

試験場所 大分短期大学(大分市千代町3-3-8)

試験種類 一般・農業用品目及び特定品目毒物劇物取扱者試験

受付期間 平成15年6月30日(月)まで

当日消印有効

受験手数料 10,500円(願書提出時に納入)

申込先 日田玖珠保健所玖珠支所・平日8:30～17:00

(玖珠町塚脇 ☎72-1150)

今月の納税・玖珠九重
農協旧支店収納窓口対応日

納付月

農協旧支店対応日

対応時間

6月

6月27日(金)・6月30日(月)

9:00～15:00

オープンキャンパスご案内

日時 平成15年7月27日(日)10:00~15:00

場所 大分県立工科短期大学校中津市大字東浜407-27

設置学科は生産技術科・制御技術科・電子技術科・住居環境科の4学科です。

当日は短大校施設を開放し、工科系技術の実験等を公開します。

施設見学案内や公開実験のほか、常設展示や受験案内・体験コーナーも設置します。

大分県立工科短期大学校

TEL 0979-23-5500 FAX 0979-23-7001

税務職員(税務大学校生)募集

受験資格 昭和58年4月2日から昭和61年4月1日まで
に生まれた人。学歴は問いません。

申込書の受付期間

7月1日(火)~7月8日(火) 当日消印有効

第1次試験 9月7日(日)

申込用紙は最寄りの税務署にあります。

詳しくは日田税務署総務課(☎0973-23-2136)まで

平成15年度看護力再開発講習会開催について

保健師・助産師・看護師・准看護師の資格を持つ人の
職場復帰を容易にするための講習会を開催します。

日時 平成15年9月3日(水)~9月12日(金)の7日間
9:30~16:30

会場 大分県看護研修センター(大分市寿町2-6)

経費 受講料は無料。ただし資料代や受講に伴う諸経費
は徴収します。

その他 全日受講者については、知事の修了証書が交付
されます。

申し込み・問い合わせ先

〒870-0036 大分市寿町2-6 大分県看護協会内

大分県ナースセンター・看護力再開発係

TEL 097-534-8118 FAX 097-532-2558

申込期間 平成15年7月14日(月)~8月15日(金)

※電話またはファックスでお申し込みください。

創業塾

時代の変化に積極的にチャレンジする創業予定者へ

開催日時 7月13日(日)~27日(日)の

土日・5日間・全30時間

会場 大分県労働福祉会館ソレイユ(大分市中央町4-2-5)

受講料 一人3,000円(全日程を通じて)

※募集は40人程度です。申し込み締め切りは7月7日。

※お問い合わせは、商工観光課(☎76-3150)まで。

コミュニティ助成事業の 追加募集について

(財)自治総合センターでは、主くじの普及広報のため、
コミュニティ助成事業を行っています。今回、「一般コ
ミュニティ事業」と「緑化推進コミュニティ事業」で追
加募集を行います。

事業採択基準(このほかにも基準があります)

一般コミュニティ助成事業

住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図るも
の。例)環境・美観整備、健康増進、交通安全
推進、お祭り、文化活動、体育レクリエーション活動、
福祉活動など

助成金額100万~250万

緑化推進コミュニティ助成事業

広場・公園等及びその周辺の緑化の推進を図るも
の。例)緑地帯・花壇等の造成、植樹等のための苗木・
種子・用具等の整備など

助成金額50万~200万

応募締切 平成15年6月30日(月)

問い合わせ先 生涯学習センター(☎76-3888)

迷惑セールス電話拒否サービスに 登録しましょう

申し込みはハガキかFAX(03-5289-8892)で

ハガキの送り先

〒101-0042 千代田区神田東松下町35 アキヤマビル2

(社)日本テレマーケティング協会

ハガキの裏面記入例

迷惑セールス電話拒否サ
ービスに登録します

電話番号

住所

登録者氏名(フリガナ)

登録は無料です(登録期間は5年間)。

参加企業からのセールス電話はなくなります(この制
度に参加していない企業からの電話は止まりません)。
携帯電話・企業(屋号)の電話は対象外です。

お問い合わせ JTA(社)日本テレマーケティング協会
TEL 03-5289-8891 FAX 03-5289-8892

ホームページ <http://jtasite.or.jp>

E-mail: office@jtasite.or.jp

電話勧誘などで困ったら?→テレマーケティング電話
相談室03-5289-0404

お気軽にお問い合わせください。

(平日10時~16時)

今月の 年金相談

日時 6月25日(水)10:00~15:00

場所 九重町役場1階・102会議室

今月の納税 納期限 6月30日

【国民健康保険税】 仮算定
【町県民税】 第1期

「知らなかった人」

見えなかった人

ハンセン病を知るうえで、ぜひ心にとどめておいていただきたい人があります。

小笠原登（一八八八〜一九七〇）という医師です。

「らい予防法」によりハンセン病患者の人たちの強制隔離が執行された、当時の時代社会の流れのなかで、一貫してこの強制隔離政策に反対し続けた人が小笠原先生でした。

先生は、愛知県海部郡にある真宗大谷派・円周寺の次男として生を受けられ、漢方医学の造詣が深かった祖父の影響で、自身もまた漢方医学を志し、京都大学医学部皮膚科の医師として

一九四八年までハンセン病の診療を担当されました。その頃「らい病」「天刑病」「薬病」といった差別的な病名で一般に恐れられていたハンセン病に対し、「うつると言

よ」というのが先生の持論だったと伺っています。また先生は、偽学者とか国賊という汚名をかぶせられ、社会的発言ができない状況のなかにあつて、「らい病は遺伝ではない、伝染力は弱い。不治の病ではない。」という三つのことを力説され、発病は伝染よりも体質にあり、栄養をとれば必ず治る病気で、隔離や断種、堕胎など人権蹂躪であると否定された信念の人でありました。

同和問題を通して

社会人権・同和教育指導員 高藤 英 利

いるのは、間違つた人が医学界で言っているだけで、私の祖父は患者さん何千人も診ていますが、そんな例はないし、私もハンセン病の患者さんを世話してきていますが、そんなにつるような病気でありません。

京都大学の皮膚病特別研究施設には、小笠原先生が「らい予防法」に対する法律違反を覚悟で残した、一五〇〇名のカルテが現在も保存されているそうです。

京都大学の皮膚病特別研究施設には、小笠原先生が「らい予防法」に対する法律違反を覚悟で残した、一五〇〇名のカルテが現在も保存されているそうです。

京都大学の皮膚病特別研究施設には、小笠原先生が「らい予防法」に対する法律違反を覚悟で残した、一五〇〇名のカルテが現在も保存されているそうです。

＝平成15年6月・7月休日当番＝

病 院	月	日	医療機関名	住 所	電 話
	6月	22日	小 中 病 院	塚 脇	72-2167
			飯田高原診療所	飯 田	79-2138
		29日	後藤内科医院	昭和町	72-0676
			矢 原 医 院	野 上	77-6121
	7月	6日	高 田 病 院	春日町	72-2135
		13日	長内科小児科胃腸科医院	春日町	72-2143
			麻生消化器科内科医院	山 田	72-7100
		20日	三津循環器科内科医院	塚 脇	72-6101
			友成(町田)医院	町 田	78-8811
		21日	玖珠記念病院	塚 脇	72-1127

歯 科 医 院	月	日	医療機関名	住 所	電 話
	6月	22日	石松朗歯科医院	日田市	0973-24-3718
		29日	井上歯科医院	右 田	77-6851
	7月	6日	中村歯科医院	日田市	0973-23-2228
		13日	近 藤 歯 科	日田市	0973-24-6080
		20日	川津歯科医院	日田市	0973-24-6347
		21日	(玖珠)井上第2歯科医院	玖珠町	72-5983

獣 医	月	日	獣医師名	電 話
	6月	22日	佐 藤 獣 医	77-6448
	7月	5日・13日・21日		
	6月	21日・29日	山 本 獣 医	78-9101
	7月	19日・20日・26日		
	6月	28日	甲 斐 獣 医	76-3324
	7月	6日・12日・27日		

ス タ ンド	月	日	店 名	月	日	店 名
	6月	22日	竹 尾 石 油	7月	13日	河 野 石 油
		29日	森 石 油		20日	竹 尾 石 油
	7月	6日	小 幡 石 油		27日	森 石 油

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎3 4 0 9
休日当番の電話番号(携帯)は 090-5721-8191

★都合で変更する場合があります 玖珠消防署：● 救急は119番 ☎72-2141 ● 火災の確認は ☎72-5100

季節

7月号

「夏」「蟬」

「緑陰」

(6月25日締切)

8月号

「日盛り」「清水(泉)」

「秋めく」

(7月25日締切)

今月の季節

「轉り(さえずり)」
「紫陽花(あじさい)」

轉りをこぼさじと抱く大樹かな

空のあお鳥の轉り幾重にも

轉りに目覚めて妻とウオーキング

耕せば左右轉り餌探し

紫陽花の色深めゆく宝宮

紫陽花や日向と日影の別の顔

今朝も又一人言い寄る七変化

紫陽花に似た孫の顔あいらしい

百姓も紫陽花も雨にうたれいく

あじさいや村に三軒一人住み

紫陽花の大輪低く耐えて咲き

紫陽花の満開夕映え絵になりて

咲き初めし紫陽花の礎風にゆれ

紫陽花の彩鮮やかき雨の友

神前の白あじさいや昼灯す

「轉りをこぼさじと抱く大樹かな」 いっぱいの鳥の轉りを逃がしまいと思う大樹と人の気持ち。「紫陽花の色深めゆく宝宮」今年もアジサイまつりが近い。「紫陽花や日向と日影の別の顔」確かにそのとおり。「今朝も又一人言い寄る七変化」七変化とは紫陽花のこと。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報係までご応募を。

井上 マキ

藤澤 節子

佐藤 修正

湯浅加代子

甲斐 和子

原田 勝子

佐藤 節代

穴井久美子

清竹 勇蔵

小野十三日

赤峰 幸子

岩尾 奈加

小野ミツノ

田浦登志枝

選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報

このえ 時間旅行

ふるさと再発見 108

町村合併～九重町の誕生まで⑧

文化財調査員 甲斐素純



明治22年4月の市制・町村制施行以後、同29年10月1日には、飯田村の大字野上・後野上と東飯田村大字右田の一部が一緒になって、「野上村」(役場は、大字野上 現北区)に置かれた。が告示第九十四号をもって誕生した。

明治44年の「玖珠郡野上村取調書」によると、人口3、454人・戸数574戸で、役場吏員は村長・助役・収入役に書記2名、用務員1名の計6名であった。

明治の大合併は、明治21年

6月13日に内務大臣から県知事へ訓令が出されてより、村々では早急な対応がなされ、同年12月5日付けで新町村区域の認可を、内務大臣あてに申請している。そして翌年2月19日付けで、「町村分合ノ一件、開キ届ク」旨の訓令があった。

この時「玖珠郡右田村ノ内 中村・甘ケ水」は、本村を分離して飯田村と合併を希望していたが、「實地ニ就キ之ヲ調査スルニ、地形上他村ニ突出シ、或ハ分離スルモ不可ナキ見込ナルモ、従来ノ一村内ノ一部落ヲ分割スルトキハ、各部各村トモ小利害ノ爲メ、陸続分離ヲ希望スルノ勢ヲ現出スヘキニ付、此際之ヲ採用セス」ということで、認められなかった。

明治21年末に於ける町村の総数は、全国で6万9千195であったが、同23年末では町村総数1万3千533にまで統合された。

右田村の内、中村・甘川水は、明治22年の時点では分離が認められなかったが、同29

年の野上村成立では、この中に含まれた。そのあと野上村は、昭和26年1月1日に町制を施行し、「野上町」となった。そして同30年2月1日には、野上町・飯田村・南山田村・東飯田村が合併して、「九重町」の誕生をみたのである。

(次回のタイムマシン、船長は小幡弘さんです。どこに案内してくださるか?楽しみですよ。)



▲野上を中心集落

人の動き

お悔やみ申し上げます

おめでとうございます

出生

おなまえ	年齢	行政区
佐藤 未徳	53	後野上
江瀬 ハツヨ	88	中央一
佐藤 ハズエ	86	桐木
清原 道彦	75	竜門
矢原 美恵	89	中央一
松本 ミサコ	89	川下北
梅木 未安	82	南区
藤田 義雄	91	書曲三

5月1日～5月31日届出分

(敬称略)

人口と世帯

人口	11,888 人 (+ 6)
男	5,676 人 (+ 9)
女	6,212 人 (- 3)
世帯	3,879 (± 0)
() は前月との増減	

おなまえ	性別	保護者	行政区
穴井 雅人	男	俊二	榎原
佐藤 綾哉	男	聖典	相狭間
甲斐 咲桜	女	寛教	書曲中村住宅
後藤 幸輝	男	和明	下旦二
松波 凌太郎	男	稔	中央一

訂正とお詫び

5月号3ページ「光ケーブルで結ばれた公共施設一覧表」中、「九重町文化センター」は「九重文化センター」の誤りです。訂正してお詫びします。

第2回 アジサイまつり

6月28日(土)

- 場所 宝八幡宮
(九重町松木・竜門の端手前1キロ左折)
- 催し物
- ③アジサイ句会 (10時～12時)
参加料なし。弁当を持参してください
(お茶あり)
 - ③即席写真コンテスト
受付・撮影は、13時～15時
審査結果は18時に発表
申し込み・受付は当日。実費必要。貸し出されたカメラで撮影します。
 - ③宝さがし
各種のタカラを用意しています。

詳細は、宝八幡宮
(☎76-3254) まで。



観光インフォメーション

来ちよくれ 見ちよくれ

震動の滝開き 7月6日(日)
竜門の滝開きフェスティバル 7月20日(日)

安全祈願、滝漕ぎ大会など

九重町観光協会 (役場西工観光課内)
☎3866 FAX3866
九重町観光協会 (役場西工観光課内)
☎5510 FAX5510
くじゅう観光協会 (役場西工観光課内)
☎2381 FAX2381

下旦祇園 7月19日(土) 予定
下旦周辺で開演。子供祇園など

野上祇園 7月19日(土) 20日(日) 予定
中村商店街を祇園山が練り歩きます。

ラベンダーフェスティバル 7月12日(土) 13日(日)
九重ラベンダー園で開演。

町長と語る ふれあいタイム

7月12日
(第2土曜日)
7月26日
(第4土曜日)

7月のお知らせ

午前10時から午後4時まで。
九重町役場で行います。
お気軽においでください。

森の中のコンサート

「ドイツロマン派の夕べ」
——バイオリンとピアノのコンサートです。——
7月6日(日) 16:00～
会場 ビッグシーダ・インベリアルボードルーム
チケット 2,000円
詳細はビッグシーダ(九重町田野 ☎79-2478) まで。

編集後記

今日のインタビュー記事書いて思い出した言葉が「一生懸命」。
5月の雑誌さんは一生懸命生きたことで、今の姿があるし、自分の歩いてきた道に悔いはないと言います。14日のコスモレディの野中さんと佐藤さんは一生懸命さが世界大会への扉を開けた。8・9日のアンケイトで寄せられた回答も、九重町で一生懸命生きた時代を誇りに思うものばかりでした。最初に出てくる山本さんも軽やかさや自由さが印象的ですが、話してみると人生や物事に対する一生懸命さをバシと感じさせてくれます。昔の人たちが持っていた一生懸命さを今へ伝えようとしている人もいます。11日の内田さん、発刊された本、すばらしいです。写真と文章に一生懸命生きた時代への懐かしさや、ざしが感じられます。15日の麻生さんは「良い映画を見る会」を率い、あえて昔の作品「二十四の瞳」を上映することで、今を生きている人たちに一生懸命の大切さを伝えようとしています。●5年前に公開された、ある映画のタイトルが頭に良く浮かびます。タイトルに青春をかけた女子高生たちの姿がさわやかな感動を呼ぶ作品です。タイトルは「がんばっていきまっしょい」。すっしょい、というのには舞台となった四国・松山の方言ですが、とても響きが良いです。押しつけがましさをなく、行きたいの自由を感じます。「一生懸命がたはいつか来る人が来るね」など「がんばっていきまっしょい」は今でも、ちやうど、足取りを聞きながら、でも、いつか来る日が来るはず。何の「がんばっていきまっしょい」。「がんばっていきまっしょい」。(付録)

町の面積 271.41km² / 町の木 くぬぎ 花 ミヤマキリシマ 鳥 カッコウ

資源保護のため広報ここのえは古紙配合率100%の再生紙を使用しています。R100